

県 広 報

特集/恵みの海 富山湾

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





8人が1本のロープになるんです

大沢野メイト 主将 吉岡佳津子さん

九月に高岡市で行われた全国勤労者綱引選手権大会で、見事優勝を果たした大沢野メイト。決勝戦では、一本目を取られたものの、二本目、三本目を粘り強く取り返しての勝利でした。「決勝戦の相手とは、たまたま相性がよくて、負けたことがなかったんですけれど、実力的には同レベル。地元だから、かえってプレッシャーがありましたよ。」と代表の吉岡佳津子さん。

大沢野メイトの誕生は、今から十三年前にさかのぼります。「テレビで綱引大会があるというので、当時私が住んでいた団地の奥さんたちでテレビに映れるんだっとならちよつと出てみようかという話が持ち上がったんですよ。」そんなデビュー戦の結果は何と二位。「それからも遊び半分で大会に出ていましたが、いつも同じチームに負けてばかり。それがだんだん悔しくなってきたので、

勝つための練習が始まったんです。」現在は、週三回二時間のハードな練習をこなしている大沢野メイト。さすがに仕事や仕事の合間を縫っての練習は大変です。「チームが強くなり結果を出すようになってからは、家族もだんだん応援してくれるようになってきましたね。試合のときは、チームメイトの家族もこぞって応援に駆けつけてくれますよ。」

綱引競技は、一チーム八人、合計体重四百八十キロ以下（女子）の制限で行われます。「長くても数十秒で勝負はつきまします。それだけに、直前の緊張感が何ともいえないんです。勝つときは八人が一本のロープになるんです。脚も手も動きが一つ。みんなのパワーが結集したときの快感は例えようもないですね。」と綱引きの魅力を熱く語りつづけた吉岡さん。

当面の目標は、来年の二月にある全日本選手権。それに優勝すれば世界選手権にも出場できるとあって、おのずと意気込みも違ってくる。「うちのチームはみんな賑やか。そこが一番のいいところなんです。」その明るさを武器に、いずれは「日本一」という大きな夢を引き寄せることでしよう。



富山の新しい子供文化を創造

富山県こどもみらい館

レポーター:富山女子短期大学 田中佐智恵さん

粘土で絵を描いてみよう



上空から見たこどもみらい館



仕掛けがいっぱいのプレイトンネル



子供たちに大人気のジェットレイン



屋上からの見晴らしは最高

今回私が訪れたのは、小杉町の太閤山ランドにある、富山県こどもみらい館です。おとぎの国にあるような建物の外観には、子供でなくても思わずウキウキしてしまいます。足を踏み入れるやいなや、楽しそうな子供たちの歓声が聞こえてきました。

館内はとても変化に富んだ造りになっていて、いくつものコーナーに分かれています。例えば、くつろいで本に親しむことのできる図書コーナー、パソコンやビデオを使って楽しく遊べるAVコーナー、木や粘土を使って工作や陶芸ができる工房、ぬいぐるみやすべり台で遊べる幼児コーナーなどなど……。

中でも、子供たちが一番楽しそうに遊んでいるのが、プレイトンネルです。こどもみらい館の天井から下げられている全長百メートルのトンネル内には、様々な遊びが仕掛けられていて、子供たちにとっては、冒険心を満たす絶好の舞台。また、屋上からは、立山連峰や富山湾に向かって広がる平野が一望できるほか、ジャングル滑り台などの遊具で楽しく遊べるようになっています。

こどもみらい館の活動テーマは、「集い 遊び 学ぶ」。つまりこころは、子供たちが自発的に集う「たまり場」であり、遊びを通じて創造力を育む場であり、好奇心を大切にしながら、生活に必要な知恵や文化を学ぶ場なのです。

富山の新しい子供文化の創造を目指すこどもみらい館。みなさんも、ぜひ親子で訪れてみてはいかがでしょうか。

こどもみらい館
 場所/射水郡小杉町黒河東公園太閤山ランド内
 開館時間/午前9時30分～午後5時
 休館日/毎週火曜日・第4水曜日
 (祝日の場合はその翌日)
 年末年始(12月29日～1月3日)
 入館料/無料

11 CONTENTS

11月号もくじ

撮影/赤羽仁諭(富山県写真家協会会員) 表紙
 とやま遊学感/こども未来館 表2
 ひとアズとやま/大沢野メイト 1
 (網引き)

クロスアップ・県政の動き 2
 ①人口問題シンポジウム(入善町)
 ②第六回全国生涯学習フェスティバル
 ③富山県利賀芸術公園開園式 4
 特集/恵みの海 富山湾 4
 PINUP TOYAMA 8
 写真/松田 勉(富山県写真家協会会員)
 詩/池田瑛子(富山現代詩人会会員) 10

ふるさとみてある記(下村) 10
 ①やぶさめ民舞
 ②表 道明さん
 ③三箇宮農組合 12
 エッセイ/難波恒雄
 (和漢薬研究所所長) 12
 富山県における主要プロジェクト
 中央植物園整備事業 13
 県からのお知らせ 14
 暮らしのアドバイス 16

とやまの祭事記/ 表3
 潤建のえびす様渡し(新湊市) 3



▲様々な企業団体が参加。「生涯学習見本市」



「高志のくから ひろがる学び」をテーマに開催された第六回全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま'94」。学ぶことの大切さ、すばらしさを生涯学習県富山から全国に向けて発信しようと、富山市、高岡市、砺波市、黒部市、小杉町の五会場で過去最多の二百八十を超える様々なイベントが繰り広げられました。開幕に先立つ五日、県民会館で開かれた前夜

10/6
~10

楽しい学びの輪を

全国へ向けて

「まなびピアとやま'94」開催

祭では、立川志の輔さんら「愛県家」四人による絶妙なトークショーに会場は大きな盛り上がりを見せました。六日には富山市体育文化センター前でオーピングセレモニーがあり、いよいよ開幕。テクノホール一帯で開催されたメイン事業「生涯学習見本市」では、企業・団体、地方自治体などが生涯学習の取り組みへの多彩な素材、情報を紹介。また、県内各会場では、それぞれのコンセプトを生かしたフォーラムや講演、講座などが開催され、会期五日間で県内外から約六十五万人が訪れ、生涯学習への関心を深めました。

十日の閉会式では、富山から発信された楽しい学びの輪が、全国へと広まるよう期待を込め次期開催地北海道へ大会旗が引き渡されました。



▶中沖知事らによるテープカット



▲大会旗は富山から北海道へ

県政の動き

H6. 9月11日~10月10日

- 9月11日 第6回全国勤労者綱引大会
- 9月13日 9月定例県議会（提案理由説明）
- 9月21日 高志リハビリテーション病院開院10周年記念行事
- 9月23日 第18回自動車安全運転富山県大会
第33回全日本登山体育大会開会式
- 9月28日 第31回富山県交通安全県民大会
- 9月29日 とやまテクノフェア'94（～10/2）
- 10月1日 人口問題シンポジウム（入善町）
- 10月2日 丘の夢牧場ピーフェア'94
第2回TOYAMA植物フォーラム
- 10月5日 まなびピアとやま'94前夜祭
- 10月6日 まなびピアとやま'94（～10日）
富山くすりフェア（～10日）
- 10月8日 富山県利賀芸術公園開園式



▲新利賀山房



▲芸術と行政のかかわり方を熱く論議

通年利用も可能になった、「富山県利賀芸術公園」。プロ・アマを問わず芸術を愛する人々の集う新しい交流の場の誕生です。



村一帯を県の施設として整備、管理するもので、舞台芸術専用施設を核とした全国で初めての県立芸術公園になります。式では中沖知事が「芸術文化活動の一大拠点となるよう、整備活用を進めたい」とあいさつ。続いて宮崎利賀村長は、「村として同園の発展に協力したい」と決意をのべました。開園式に引き続き、同公園での最初のイベント「利賀・紅葉フェスティバル'94」が開幕。初日となったこの日には、劇団SCOTを主宰する鈴木忠志氏、建築家の磯崎新氏らを迎え、「地域と文化」と題したシンポジウムが開かれたほか、劇団SCOTによる「ディオノソス」の公演などが行われました。



若者の定着する町に

10/1

人口問題シンポジウム開催

「住みよいとやまから住みたいとやまへ」をテーマに、若者の定着と流入の促進について考える「人口問題シンポジウム」が十月一日、県内のトップを切つて入善町の町民会館コスモホールで開かれました。

シンポジウムでは、まず県内のアマチュア劇団が、若者の考えている富山の不満な点を寸劇で披露。続いて、北陸経済研究所の小川弘専務理事をコーディネーターに迎え、宝賀副知事、柚木入善町長、町民代表らのパネラーが、「働く」、「遊ぶ」という観点に焦点を当て、活発な意見交換を行いました。

その後行われたディベート（討論）大会では、「入善町に大規模なテーマパーク建設の話が、大手建設会社から持ち上がった」という想定で、この建設が若者の定着につながるかどうかを、県内

四テレビ局の女性アナウンサーらが、肯定派、否定派に分かれ、激論を戦わせた。会場は立ち見もでるほどの大盛況で、改めて人口問題に対する県民の関心の深さを物語っていました。

このシンポジウムは、年内に庄川町、氷見市、滑川市でも開催される予定です。

今後の開催予定

市町名	日時・場所	担当課
滑川市	11月26日(土) 午後7時～9時 西地区コミュニティホール	滑川市企画財政課長 ☎0764・75・2111
氷見市	11月23日(水) 午後2時～4時 氷見市民会館	氷見市企画課 ☎0766・74・8011
庄川町	11月12日(土) 午後6時半～9時 庄川ふれあいセンター	庄川町企画室 ☎0763・82・1901

10/8

世界の芸術文化活動の

拠点を目標して

「富山県利賀芸術公園」開園式

「演劇の利賀」の一層の発展を目指した「富山県利賀芸術公園」の開園式が十月八日、新利賀山房で行われました。これは、野外劇場や利賀山房などのある利賀合掌文化



▲「劇団すばる」による楽しい寸劇

恵みの海 富山湾



この深層水については、多様な活用が研究・提案されており、無限の可能性を秘めているといわれています。また、富山湾は海底地形が急峻であるため、沿岸近くで深層水をくみ上げやすいという好条件にも恵まれているのです。

富山湾は二つの水層圏からなり、その境界線は海面下ほぼ三百メートルの層にあります。上層部は、対馬暖流水系の世界。この層には四季による水温変化があり、数千種類の魚が棲んでいます。一方下層部には、富山湾の九十パーセントを占める巨大な固有冷水があります。ここには、太陽光が届かず、棲む魚類は限られています。『深層水』と呼ばれるこの水塊には、栄養分が豊富であること、水温が二度以下で安定していること、そして生物学的に清浄であること、の三点の特徴があります。

深層水

富山湾の特性

独特の地形

富山湾の県内の海岸線延長は九十四・六キロ。深い海が沿岸近くまで迫り、海底勾配が大きく水深が深いという、日本海側では他に類を見ない特異な地形をなしています。湾の最深部は約千二百メートルとかなり深く、形が瓶のようになっています。その海水が藍色に見えることから、古くから漁業者によって「あいがめ」と呼ばれてきました。また、その海底地形は山（海脚）あり谷（海底谷）ありの複雑な地形をなしていることもその特徴です。

水質の保全

県では、富山湾内三十地点で、継続的に水質測定を実施しており、生活環境に関する項目について、ほぼすべてにわたり基準を達成するなど、富山湾の水質は良好に推移しているといえます。県では、クリーン・ウォーター計画（水深環境計画）により、生活排水、産業排水、河川浄化に対する対策を推進します。また、全県域下水道化構想に基づき計画的な下水処理を促進していきます。

しかし、これらの水質環境を保全していくためには、何よりも県民一人ひとりが、きれいで豊かな富山湾を守っていくという意識を持つことが必要です。

富山湾を守る

海岸景観の保全

人工海岸が多い富山湾ですが、灘浦の磯海岸や松田江浜、島尾海岸、雨晴海岸、八重津浜、石田浜、宮崎海岸などには、自然海岸が残されています。また、氷見海岸や雨晴海岸から海越しに望める三千メートル級の立山連峰の眺望は、世界的に



恵みの海



▲魚津市埋没林博物館



▲蟹気楼

有史以来、海は無限の世界、ロマンの世界として位置づけられてきました。特に富山湾は、蟹気楼や埋没林といった、「自然の悪戯」ともいふべき珍しい現象が見られ、まさに自然界の神秘の宝庫といえるでしょう。また、天然の生け簀として、私たちの食卓を潤してきました。近年は科学技術の発達にとまない、海洋の新しい開発利用が進められてきています。富山湾でも、海洋環境の保全に配慮しつつ、海洋資源の研究・利用が行われています。ここでは、「恵みの海」富山湾の特性と、その秘めた可能性を考えながら、そのための施策を紹介していきます。

富山湾



▲平成元年に行われた人工湧昇実験

深層水については、まだまだ解明されていない点が多く残されています。まず、その性状をより詳しく解明していかなければいけません。

水産分野の研究の具体例としては、ベニズワイガニやホタルイカなどの、深海性生物の生態研究があります。これは、どのようにこれらの資源を管理していくかに重点をおいた研究です。また、栽培漁業の分野では、トヤマエビの種苗生産技術開発の研究や、サクラマスの親魚養成技術開発の研究などを主に行います。

おもしろいものでは、貝類浄化システムの開発があります。従来、

富山湾を利用する

深層水の利用

も誇ることができるのです。こうした美しい景観は、将来にわたって引き継いでいくべき貴重な財産であり、その保全に努めていくことはもちろん、海岸整備を行う場合は、景観に十分な配慮を払うことが必要なのはいうまでもありません。

富山湾は急峻な海底地形を持っているため、深層水利用には有利な条件にあることは、先述のとおりですが、その第一階として、県水産試験場に深層水利用研究施設を設置し、水産分野を中心に研究を行うこととしています。

さらに、それらの研究成果をもとに、深層水を利用した新しい産業を開拓し、富山ならではの産業として育て上げることが目指されています。

また将来的には、国内外から優秀な研究者を招聘して、深層水の多目的利用に関する総合的な研究を行う「国際深層水利用研究センター(仮称)」の整備を検討し、深層水利用の拠点を目指します。

海洋学習の促進

『不思議の海』富山湾の魅力と、先人が育んだ海洋文化を知るためには、県民が海に親しむ機会をふやすことが必要です。このため県では、富山新港西理立地に「日本海博物館」(仮称)の建設構想を進めています。

この博物館は、海に関する様々な分野について学習、演出、体験できる施設として整備するもので、西理立地全体を日本海に関するミュージアムエリアとし、個性あるマリンフロントの創出を目指した日本海ミュージアム構想の中核となる施設です。

この日本海博物館を拠点として、魚津水族館、埋没林博物館、

(無限の可能性を秘めているといわれる深層水について、
奈倉昇富山県水産試験場次長にお話を伺いました。)

■平成元年に世界で初めて富山湾で行われた深層水の人工湧昇実験とは、どんなものですか?

水深三百メートルから栄養分が高い深層水をくみ上げ、そのまま海に散布し、水産物の豊かな海にするという実験です。実際に、その海域が豊かになったという証拠は得られませんでした。今後の研究につながる貴重なデータを得ることができました。例えば、深層水が思ったよりも速く海底へ沈んでしまうことがわかりました。これをどうやって表層にとどめるかが、今後の課題でしょう。また、このとき同時に深層水と表層水の温度差を利用した発電の実験も行われ、2キロワットの発電に成功しています。

■水産試験場の深層水利用実験施設は、現在どのようなになっていますか?

水産分野の実験施設はすでに完成しています。この施設は、富山湾の沖合二・六キロから深層水をくみ上げて水槽に溜め、養殖などの実験を行うものです。今後、試運転を経て、来年4月には本格的に稼働を開始します。

■具体的には、どのような研究が行われる予定ですか?

水産分野の研究の具体例としては、ベニズワイガニやホタルイカなどの、深海性生物の生態研究があります。これは、どのようにこれらの資源を管理していくかに重点をおいた研究です。また、栽培漁業の分野では、トヤマエビの種苗生産技術開発の研究や、サクラマスの親魚養成技術開発の研究などを主に行います。

水産業の振興

はたるいか会館等が連携することにより、『不思議の海』を広い視野で体験できることにもなります。

『きときとの魚』が観光キャッチフレーズにもなっているように、水産業が盛んな富山県。対馬暖流と日本海固有冷水は、いながらにして暖流系のブリ、マグロや、寒流系のアマエビ、シラエビ、タラ、ベニズワイガニなどを、食卓に供給してくれます。

しかし、漁業規制の強化や漁業資源の減少などの理由から、近年の富山県の漁業生産高は減少傾向にあります。そこで、積極的に種苗を放流し、自然の海の力を利用しながら人為的に資源を管理するという「つくり育てる漁業」を推進していくことが必要です。

県では、氷見市の栽培漁業センターが中心となり、クルマエビ、ヒラメ、アワビ等の放流用種苗生産施設、ヒラメ、マダイ等の養殖用種苗の中間育成施設を整備するなど、積極的な取組を行っています。今後、行政と漁業者が連携をとりながら栽培漁業の拡大・定着を図っていくことが必要です。また、過剰な乱獲を防止し、資源を適性に維持するため、禁漁期間の設定や漁具・漁法の制限などを行う資源管理型漁業への漁業者の自主的な取組が期待されています。

また、本県が発祥の地といわれる定置網漁業は、現在も湾内漁獲量の約七割を占めており、富山県漁業の中核的役割を担っています。本県漁業の将来を担うべきこの定置網漁業を魅力あるものにするため、作業の省力化・合理化、漁業経営の安定化に努めるとともに、漁業後継者の確保・育成に務めていくことが大切です。

※種苗 卵や稚魚など



▲ひらめの稚魚



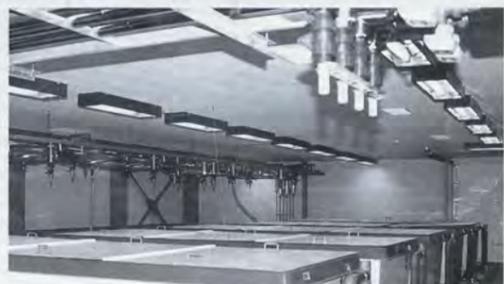
奈倉水産試験場次長

■水産分野以外での深層水の利用方法として、どのようなものが考えられますか?

カキやホタテガイなどは冷水で洗浄し、有害な物質(貝毒)を取り除いているんですが、深層水を用いそれを行えば、コストが格段に安くなる。これは、ぜひ実用化したいですね。

先に述べた温度差発電のほかに、野菜などの低温貯蔵などが考えられているようですが、最近では医療分野での利用が目立っています。つまり、深層水の豊富な栄養塩と清浄性を利用して、β-カロチンなど医薬的に効果のある物質を含む植物プランクトンを培養する研究です。また、深層水そのものを用いて健康飲料を製造することも考えられています。

この他にも、あらゆる産業部門への応用研究の構想がある深層水は、図り知れない可能性を持っているといえるでしょうね。



◀深層水の利用実験水槽

私たちに様々な恩恵をもたらしてきた富山湾。しかし、まだまだ富山湾には多くの可能性が秘められています。その可能性を、自然・文化・産業など多方面からの施策の展開により引き出していくことが必要です。

また、私たち一人ひとりが、海の美化に努めるとともに、もつと海を知り、海に親しみ、そして海に誇りを持つことも大切です。

これからも富山湾は、私たちのあらゆる生活分野にうるおいを与えてくれる、まさに『恵みの海』なのです。

冴えかえる陽に透けて
新雪の匂いに息づく姿を
藍いろの鏡に映すと
遙かな山が蘇る

荒あらしい季節の前の
畏のような静寂

夜の深みに

ひとびとの悲哀がまたたくとき

天空の淵を ひそかに

星を連れて

月が泳ぎ渡るだろう



下村

ふ・る・さ・と
み・て・あ・る・記

花開く踊りの文化

やぶさめ民舞

昭和六十三年、村制施行百周年を記念してつくられた「下村音頭」。その振り付けを、正しく理解しながら、広めていこうと踊りに興味のあったメンバーが集いつくったグループが「やぶさめ民舞」だ。会員数は現在十九名で、すべて女性。週二回の練習をこなしている。



▶先生お手製の衣装を身にまとい



▲夏まつりで舞台披露

「平成四年に開催された、ジャパンエキスポ富山「下村の日」に舞台の上で下村音頭を踊ったのが、やぶさめ民舞のデビューです」と指導している宮腰よし子さん。今では老人ホームの慰問などで披露する踊りのレパートリーも下村音頭をはじめ、二十数種類にまでなった。

そんな会員のみなさんの励みとなり楽しみとなっているのは、宮腰さんが時折手がけるお手製の衣装。「衣装は、見た目の華やかさという点で踊りの重要な要因になります。だから、仕立てには心して取り組んでいるんですよ」とにこやかに語る宮腰さん。そうした思いが通じてか、「先生の作られた衣装を着て踊るとなると、いつにもまして、やる気が出てきますね」と会員のみなさんは声をそろえる。

「みなさん一生懸命練習してくださるので、将来は独自の発表会を開いて日頃の成果を披露したいですね」古くから、数多くの伝統が息づいている村から、また新しい文化が開く。

愛情を込めながら創作活動

表道明さん

下村の教育長を務めるかたわら、役場のサロンを飾る絵を描いたり、村史の挿絵や広報紙の表紙用の絵も

手がけるといふ表道明さん。現在では時折、地元の銀行で展示会を開いたりもするという。

表さんが絵を描くようになったのは、二十年以上も前にさかのぼる。「しばらく退屈な入院生活を送っていたんですが、たまたま友人が、伊東深水の絵画集を持ってきてくれて、それに感動したのがきっかけなんです」

そんな表さんが絵を描くときに心掛けていることがある。「対象となるものの中心から描くんです。生き物なら目。目がうまくいけば、その目に語りかけながら描いていくんですよ」愛情を込めながら丁寧に絵を仕上げていくわけだ。

また、表さんは、小学生が使うような絵の具を用いる。「パレットの上で色を混ぜ合わせる時、プロが用いる岩絵の具のような重厚さがでるよう工夫しています」イメージ通りの色彩がでたときは、何ともいえない充足感に満たされるそうだ。

「最近では村も速いスピードで開発が進んでいます。今後は、この故郷の風景の変化を描いていきたいですね」時には、描き始めの頃のようにベッドの上で、表さんの創作活動は続く。



制作中の表さん▶

将来に向けた 地域営農への取り組み

三箇営農組合



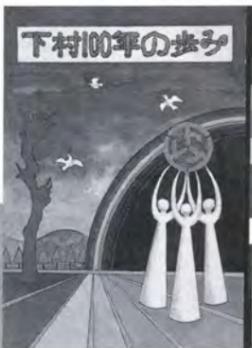
「農業の省力化には、やはりトラクタとかコンバインといった、高価な機械が必要になってきます。その購入費用の軽減や、後継者不足に対応するため結成されたのがこの営農組合です」と語るのは三箇営農組合代表の芝田隆さん。

「他の営農組合の加入軒数が数軒なのに対し、うちの組合には、三箇地区の農家のほとんどにあたる四十七軒が加入しているんですよ」と芝田さん。ただ、この地区には自分たちで農作業ができるうちには、組合に作業を委託する形を取りたくないという農家が多かったため、容易に組合結成には至らなかった。だが、「必要に迫られてからは遅い」という芝田さんの強い信念から、地区のみなさんで何度も話し合いを持ち、平成三年ついに結成に至った。

「今後は、組合に作業委託される面積が増えるので、大型機械の導入が進むでしょう。だからそれを動かす人材の養成と技能向上を図らないといけませんね」と語る芝田さん。地域が一体となった農業への取り組みが、いま未来を見据えて進んでいる。



▲芝田隆さん



下村100年の歩み



下村の概要

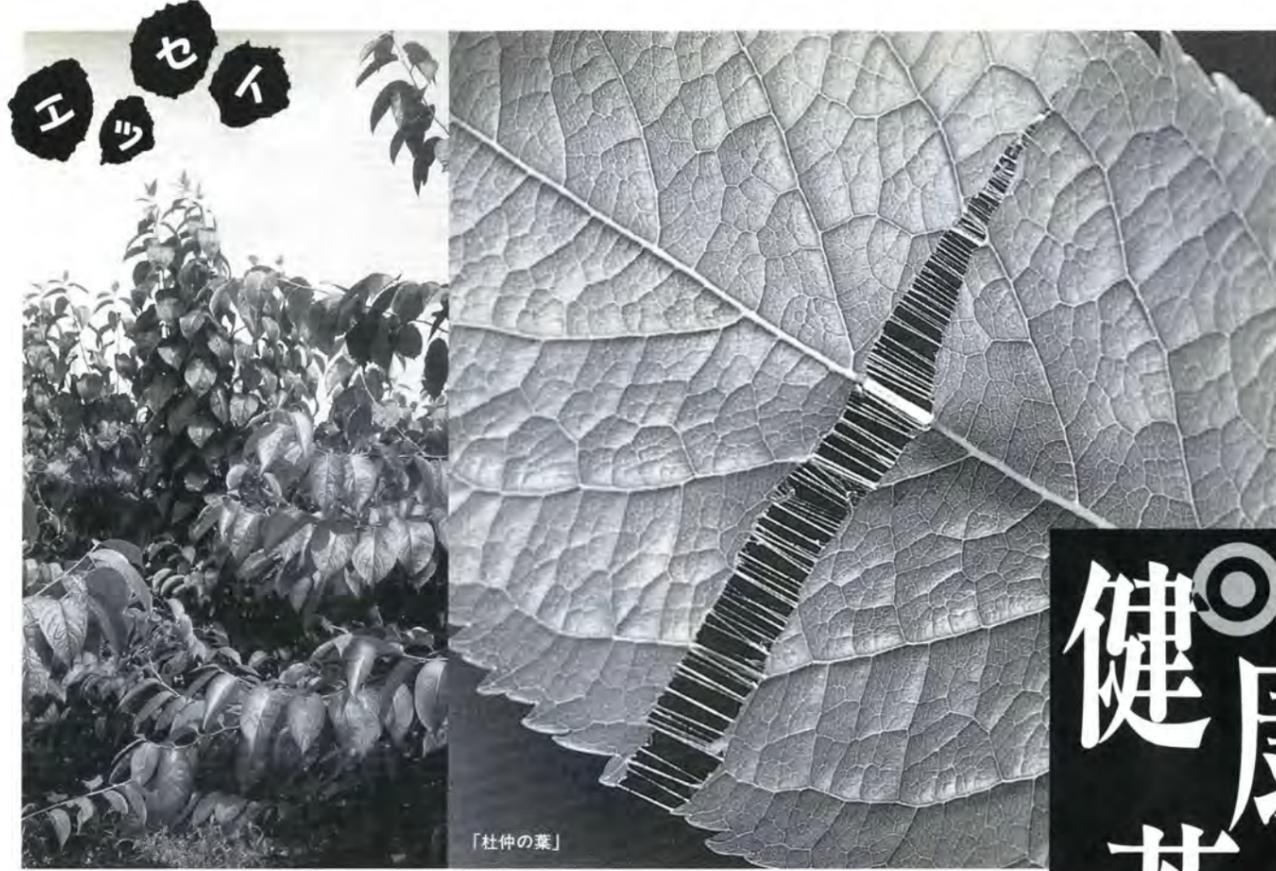
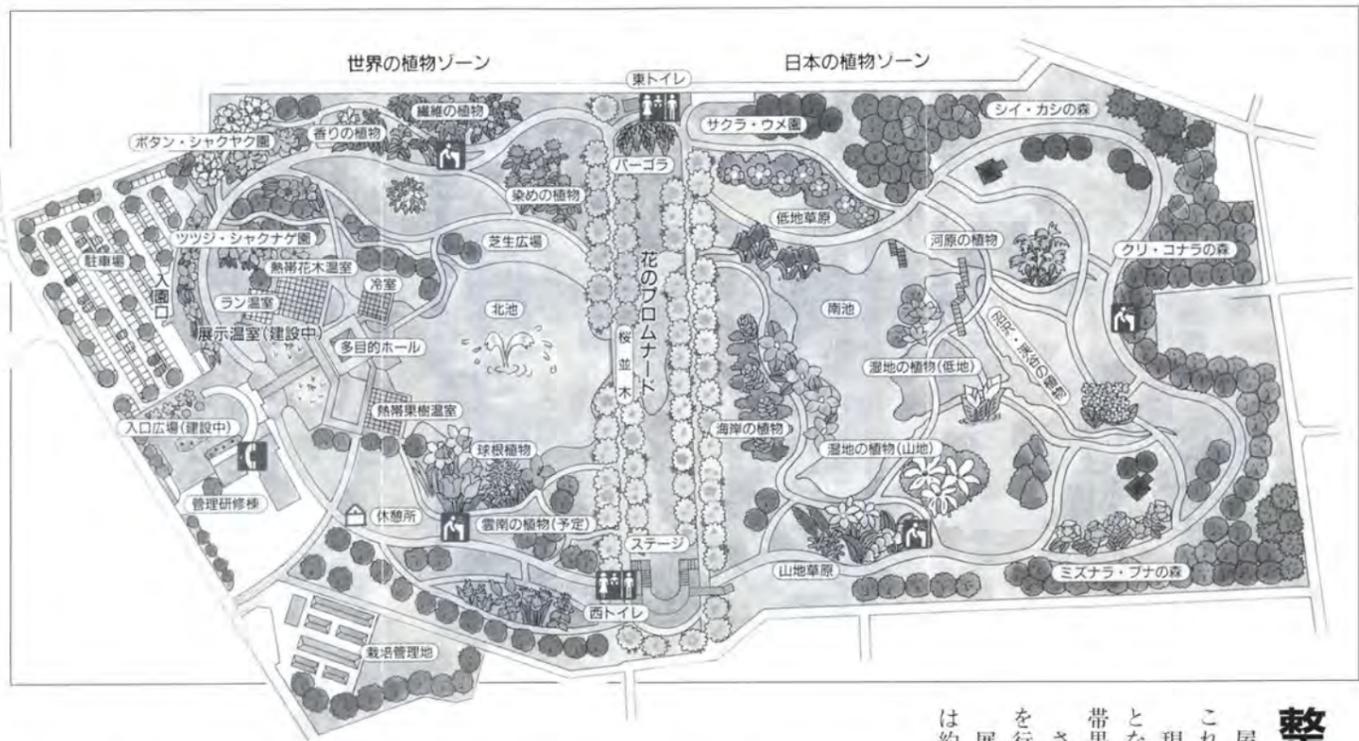
・人口 2,084人 ・面積 5,80km² (平成6年10月1日現在)

加賀から宿場に指定された江戸時代には、約半数の家が商家だったが、今ではのどかな農村地帯となっている。
加茂神社の春祭り「やんさんま」で行われる、送馬・牛乗式・流籠馬などの神事は文化的価値が高く、広く知られている。また、神社の西隣には、馬事公園があり乗馬教室も開かれている。

平成8年春の 全面オープンに向けて 富山県中央植物園

県では、県内の優れた植生地や公園・緑地等を特色ある植物公園として整備し、これらをネットワーク化することにより県土全体に一つの総合的な植物園を形成するという、全国的にもユニークな「植物公園化構想」を推進しています。

そのネットワークの核となるのが、日本海側で初めての総合的植物園となる「富山県中央植物園」です。



健康茶余話

富山医科薬科大学教授・和漢薬研究所長

難波恒雄

烏龍茶に始まった健康茶は、日本の製罐プレス技術や自動販売機の発達、さらには長寿社会を反映して益々ブーム化してきている。中国茶の歴史は、四〇〇〇年前の『神農食経』にはじまるが、これは一応伝説の世界である。唐の七六〇年頃、陸羽が『茶経』を著わし、茶の起源、故事、喫茶の方法などを書き誌した。これが喫茶の興りと云えよう。

茶は不発酵茶(日本式緑茶、竜井茶、白茶)、半発酵茶(包種茶、烏龍茶)、発酵茶(紅茶、磚茶、普洱茶)の三種に大別されるが、夫々、味、飲み方に特徴がある。茶には覚醒、解毒、虫歯予防、老化予防作用などが報告されているが、栽培中に虫がつき易いため、殆どどの栽培地で農薬を用いている。一応安全性はうたわれているが、一年以上の長期連用の場合の人体に対する影響は、まだはつきりしていない。「君子危うきに近寄らず」で、私は無農薬栽培のお茶しか飲まないことにしている。

近年、チャノキの葉(お茶)に代る健康茶と称するものが世に氾濫している。はぶ茶、流石茶、マテ茶、クコ茶、人参茶、ドクダミやゲンノショウコなどを混ぜたブレンド茶、各種のハーブ・ティー等々、実に種類が多い。最近ブームになっている杜仲葉茶も、その一つである。今から一〇年前、長野県伊那の農家の方が、私の研究室に訪ねてきた。「現在の農業はコメだけではユメが

ありません。長野では養蚕が駄目になり、クワ畑は荒れ放題です。何か代替の葉草はないでしょうか。実は最近韓国から、トチュウの種子をもらったのですが」。杜仲は中国四川省原産の科一属一種の高木で、人参、鹿茸と共に漢薬の三大名薬の一つである。ただ薬用には樹皮を用いるので、苗を植えてから一六―二〇年たないと、その樹皮を収穫することができない。その上、樹皮は「専ら医薬品」の範疇に入るので、薬局以外では販売できない。「トチュウの葉をお茶にしたらどうでしょう。結構くせがなく、おいしいですよ。トチュウは虫がつかないので有機栽培できます。ただ、樹皮と葉の薬効の比較研究をする必要があります。それには研究費がかかりますよ」ということで研究を始めた。

中国や日本の古い本草書(薬物書)には杜仲の葉を用いた記事はない。かつて杜仲の若葉をテンブラにして食べたことがある。大変美味であった。杜仲葉の利用はそのことから、ふっと思いついた私のアイデアである。結局、杜仲葉には利尿、降圧作用があり、さらに代謝機能を高め、肝臓の機能を促進する効果のあることが明らかになった。私自身、ここ十年来毎日、杜仲葉茶を二リットル近く飲んでいて、大変調子が良い。特に少々酒を過しても二日酔いしない。興味のある方は、一度試用されては、但し製造会社によって、粗悪品の味の悪いものがあるので注意が肝要。

整備計画

屋外展示室については、昨年十月一日に開園しましたが、これから屋内展示室等を中心に整備が進められていきます。現在、多目的ホール、熱帯花木温室・ラン温室が完成間近となっているほか、園路・池・バーベキュー等の造園工事や、熱帯果樹温室の建築工事も順調に進んでいます。

さらに今後、冷室の建築と各温室内の造園工事・植栽工事を行い、平成八年春までに全施設オープンする見込みです。展示植物については、順次計画的に収集を行い、最終的には約五千種類の植物を収集・展示する予定になっています。

中央植物園の機能・特徴

- 中央植物園は、植物を観察、学習する「植物園」としての機能と、憩い、安らぐ「公園」としての機能を併せ持つ施設として整備されます。
- また、県内各地の植物園に対する技術指導・情報提供などを行う機能も果たしていきます。
- なお、中央植物園の主な特徴は次の通りです。
- 日本海側特有の植物をすべて収集・展示
- 世界の植物を、「有用性」(多様性)「意外性」の三つのテーマ別に収集・展示
- 「雲南コーナー」を設け、植物の宝庫である中国雲南省の植物を体系的に収集・展示
- 展示温室や多目的ホールを設け、冬期間にも花と緑が楽しめる
- 池やせせらぎ、滝、モニュメント等を配し、多様な景観を持つ

この植物園の完成により、年中、世界の多種多様な植物に親しむことができるようになるほか、植物観察会や園芸講習などを通じ、より植物が県民の身近なものになることが期待されます。

問合せ 富山県中央植物園
 婦負郡婦中町上替田42 ☎0764-66-4187

募集のお知らせ

マスコットの名前を考えて
ハガキで送ってね。

●応募方法

ハガキに、次の要領で記載し応募してください。
1人何点でも応募できますが、ハガキ1枚につき1点とします。

●応募締切

平成6年**11月30日**(水) (当日消印有効)

●選考及び決定

実行委員会で厳正に選考し、決定します。

●表彰

最優秀賞	1点	賞状および賞金5万円
優秀賞	2点	賞状および賞金2万円
佳作	5点	賞状および賞金1万円

ただし、入選者が小中高校の児童生徒の場合は、賞金相当額の図書券とします。
また、入選作品が複数あったときは、抽選により入選者を決定します。

●発表

入選者には、直接通知するとともに、報道機関を通じて発表します。

●応募条件

- 応募資格は問いません。
- 応募作品は、自作・未発表のものに限ります。
- 最優秀賞の作品は、彩りとやま緑化祭'96のマスコットマークの愛称として使用しますが、補作又は修正を行うことがあります。
- 最優秀賞の作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。
- 応募作品は、返却しません。

●応募・問い合わせ先

全国都市緑化とやまフェア事務局 マスコットマーク愛称募集係
〒930 富山県富山市新総曲輪4-18 富山県民会館内
☎0764-44-1120

(11月1日以降は、下記まで応募・問い合わせください。)
〒930 富山県富山市内幸町7-9 内幸町ラ・フォンテ内
☎0764-44-1120



マスコットマーク

[記入例]

郵便はがき

50円切手 -

富山県富山市新総曲輪4-18
富山県民会館内
全国都市緑化とやまフェア
事務局
マスコットマーク愛称募集係

- ①愛称 (漢字の場合はフリガナ付)
- ②愛称の由来
- ③住所
- ④氏名(フリガナ付)
- ⑤年齢
- ⑥性別
- ⑦職業(学生等の場合は、学校名・学年)
- ⑧電話番号

第13回全国都市緑化とやまフェア

彩りとやま緑化祭'96

彩りとやま緑化祭'96は、花と緑とあなたを主役に、季節感あふれる様々なイベントを通して、自然のすばらしさを体験できるお祭りです。平成8年に、富山県をステージに開催されます。みなさんの参加をお待ちしています。

- テーマ 花ある人を育てる緑
- 主催 富山県、高岡市、砺波市、(財)都市緑化基金
- 会期 平成8年4月20日(土)～9月1日(日)135日間
- 会場 高岡古城公園／高岡おとぎの森公園／砺波チューリップ公園／県民公園頼成の森／県民公園太閤山ランド／富山県中央植物園

第13回全国都市緑化とやまフェア

彩りとやま緑化祭'96

マスコットマークの
**愛称
大募集!**



かわいい名前を
つけてね!



▼制作意図

マークは、元気いっぱいの緑の発芽、若芽、開花などのイメージをシンプルなアイキャッチャーとして表わしています。

(制作者／福田繁雄・グラフィックデザイナー)

●お知らせ●

「富山県高校文化祭」開催
 県内の高校生が、日頃の芸術文化活動を総合的に発表する「第6回富山県高等学校文化祭」が開催されます。
 ○ステージ発表(富山県民会館大ホール)
 11月19日(土) 11時 開会式
 11時30分 第一部 邦楽、郷土芸能、放送、弁論ほか
 14時 第二部 器楽管弦楽、合唱
 13時30分 第三部 吹奏楽
 ○展示発表(富山県民会館美術館・地下展示室・ギャラリー)
 11月19日(土)～21日(月)、
 美術工芸、書道、写真、高校新聞
 問合せ 富山県高文連事務局
 ☎0764・34・5298

「希望の集い」の開催について
 県内の盲学校・ろう学校・養護学校及び小学校特殊級の子供たちが一堂に会して、互いの友情を深めたり優れた演劇等を鑑賞したりする「希望の集い」を左記のとおり開催いたします。
 広く県民のみなさんに参加していただき、子供たちへのご理解と励ましをお願いいたします。
 日時 平成6年11月29日(火) 13時15分～15時
 場所 富山県教育文化会館ホール
 入場料 無料
 問合せ 富山県教育委員会指導課 ☎0764・44・3451

狩猟の解禁について
 平成6年11月15日から富山県内における狩猟が解禁になります。狩猟期間は、平成7年2月15日までの3ヶ月間です。

●募集●

彩りこやま緑化祭'96のマスケットマーク愛称募集
 平成8年4月20日から9月1日までの135日間、「花ある人を育てる緑」をテーマとして、6つの主催会場を中核に県下全域において県民総参加で取り組む花と緑の祭典「彩りこやま緑化祭'96」のマスケットマークの愛称を募集しています。
 このマークは、元気いっぱいの緑の発芽、若芽、開花などのイメージを表したもので、国際的に活躍されているグラフィックデザイナーの福田繁雄さんの作品です。



応募方法 ハガキに、次の事項を記入して、左記までお送り下さい。(一人何点応募しても構いませんがハガキ一枚につき一点に限ります。)
 ①愛称(漢字の場合はフリガナ付) ②愛称の由来
 ③住所 ④氏名(フリガナ付) ⑤年齢
 ⑥職業(学生の場合、学校名と学年)
 ⑦性別 ⑧電話番号
 ●応募締切 平成6年11月30日(水)(当日消印有効)
 ●審査・表彰 最優秀作 1点(賞状および賞金5万円)
 優秀作 2点(賞状および賞金2万円)
 佳作 5点(賞状および賞金1万円)
 ●問合せ・応募先
 〒930 富山市内幸町7の9(内幸町ラ・フォンテ内)

●みなさんの相談窓口●

- 県政について
 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎(0764)31-4111代
 31-3131(県民相談電話)
 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎(0766)21-9411代
 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎(0765)24-5311代
 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎(0763)33-5151代
- 物価ダイヤル
 物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
 消費生活センター
 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
 (一般相談は) ☎(0764)32-9233
 (金融相談は) ☎(0764)32-3252
 消費生活センター高岡支所
 高岡市本丸町7-1 本丸会館内
 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
 富山県交通事故相談所東別館1階
 ☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番 相談
 家庭問題・悪質商法・覚えい劑など、どんな相談にも応じます。
 ☎(0764)42-0110
- シルバー110番
 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
 ☎(0764)41-4110

●県からのホットニュース●

- テレビ広報
 ■チューリップテレビ 毎週土曜日 AM9:30～9:45
 「志の輪のふるさとトーク」
 ■富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30
 「112万人のひろばクイズノフォーカス・イン」
 ■北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30
 「こんにちは富山県です」
 11/6 みんなで生産スポーツ
 11/13 文化ホールに親しむ
 11/20 見直そう公共交通
 11/27 私たちのふるさとづくり ～富山市～
- ラジオ広報
 ■FMとやま「ふれあいホットライン」
 県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとけします。
 毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報
 ■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
 毎月第2、最終土曜日
 「県からのお知らせ」

●平成9年12月街頭献血日程●

日曜日	献血場所	時間
1 木	八尾町役場	12:30～16:00
3 土	富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:30
4 日	富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:30
11 日	神川市「エール」ショッピングセンター前	10:00～16:00
12 月	黒部市役所前	9:30～12:00
18 日	富山西武デパート前	10:00～16:30
19 月	朝日町役場前	9:30～11:00
25 日	大島町「アプリオ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
29 木	富山市「アピタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
30 金	富山西武デパート前	10:00～16:00

*都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
 ◎富山県赤十字血液センターでは、毎土曜日及び第2・第4日曜日も開所し(祝祭日除く)、献血を受け付けています。(受付時間9:00～16:45)
 富山県赤十字血液センター
 富山市飯野26-1 TEL(0764)51-5555

月間で、この間は日の出から日没まで狩猟ができます。狩猟者の皆さんは、関係法令と狩猟マナーを遵守し、絶対に事故を起こさないよう十分注意して下さい。
 問合せ
 最寄りの県農地林務事務所または県庁自然保護課
 ☎0764・44・3397

「旧立山温泉に関する写真、映像及び物品の情報収集」のお願い
 県と建設省立山砂防工事事務所が共同で準備を進めている「立山カルデラ砂防博物館(仮称)」に展示、収蔵する資料として、旧立山温泉の往時の様子がわかる写真、映像、物品に関する情報を募集しています。
 連絡・問合せ
 県庁砂防課 ☎0764・44・3341

有料道路通行料金の障害者割引について
 次の方は、有料道路を通行する場合、通常の有料道路通行料金の半額の割引措置を受けることができます。
 ●身体障害者が自ら運転する場合
 ●重度の身体障害者又は重度の精神薄弱者を乗せて、介護者が運転する場合
 (重度の身体障害者、重度の精神薄弱者は、JRにおける第一種身体障害者、第一種精神薄弱者と同じ範囲です。)
 ただし、割引を受けられるのは、障害者本人または一緒に生活される方が所有する自動車に限ります。(営業車は除く)
 申込み・問合せ
 居住地を管轄する市町村障害福祉担当課
 (なお申し込みの際は、身体障害者手帳又は療育手帳、運転免許証、車検証を持参してください。)

「旧立山温泉に関する写真、映像及び物品の情報収集」のお願い
 県と建設省立山砂防工事事務所が共同で準備を進めている「立山カルデラ砂防博物館(仮称)」に展示、収蔵する資料として、旧立山温泉の往時の様子がわかる写真、映像、物品に関する情報を募集しています。
 連絡・問合せ
 県庁砂防課 ☎0764・44・3341

●啓発●

11月11日から17日までは、「税を知る週間」です
 県民のみなさまに、税をより一層身近なものとしてご理解いただくため、11月11日(金)から17日(木)までの間、次のとおり県内各地で展示会を開催いたします。
 ・アピタ富山店 11月3日(木)～6日(日)
 ・大和高岡店 11月3日(木)～8日(火)
 ・魚津サンブラザ 11月11日(金)～14日(月)
 ・ジャスコ砺波店 11月11日(金)～17日(木)
 ☆この社会とあなたの税が生まれている☆
 この機会を通じて、税の役割、税の仕組み等についてご理解を深めていただければと存じます。

「シルバー110番」商品に注意しましょう
 最近、有名ブランド商品に似せて作った衣類やバッグ、有名なマンガの主人公の絵を許可なしにデザインをしたセキヤクター商品、またビデオテープやCDから無断複製した海賊版などが多く出回っています。これらの商品を作ったり販売したりすることは法律で禁止されています。このような商品を購入した方、販売しているのを目撃された方は、お近くの警察署、交番、または警察本部総

富山県立近代美術館
シャガールの挿絵本の世界
 マルク・シャガールは、絵画のみならず、版画にも並々ならぬ熱意をもって取り組み、独自の世界を創造した芸術家です。この展覧会では、シャガールの3大挿絵本と評される「死せる魂」「寓話」「パイプ」の3つの挿絵本を紹介いたします。
 シャガールのイメージ豊かな銅版画の世界を堪能できる絶好の機会となることでしょう。また会期中は、映画会、解説会などの関連行事もああります。
 ●期間 11月12日(土)～12月18日(日)
 ●観覧料 一般 450(350)円
 高校・大学生 350(250)円
 小・中学生 250(150)円
 ()内は20人以上の団体割引料金
 ●問合せ
 富山県近代美術館 ☎0764・21・7111

国際家族年記念事業
『伝承遊び大集合』を開催中
 ☆展示 「日本の風・コマ・メンコ大集合」
 ☆製作 「伝承玩具ワークショップ」
 ・紙玉鉄砲、色変わりコマづくり(期間中毎日)
 ・凧づくり教室(11月12日・13日)
 ☆実演 「コマ工房」(11月23日・27日)
 原木からコマができるまでを実演します。
 ☆体験 「わいわい伝承遊びランド」
 ・コマまわし・メンコ遊び・おはじき遊びなど
 ☆期間 11月27日(日)まで開催
 ☆場所 富山県こどもみらい館
 小杉町大間山ランド内 ☎0766・56・9000

合相談室 ☎0764・42・0110(フリーダイヤル) 報告下さい。
「お米」は、市町村長許可販売店で
 お米の販売は、食糧管理法により、市町村長の許可を受けたお店でなければできないことになっています。毎日食べるお米ですから、信頼できるお店で品質等が保証されたものを買いたいです。
Sマークのついたお店では、3つのSをお約束します。
 Sマークは、厚生大臣許可の標準営業約款制度に従って営業しているお店の表示です。このSマークを店頭に掲げている理容店・美容店・クリーニング店なら、約款に定められた基準以上のサービスが保証されています。Standard(標準)
 確かな技術。お客さまに提供するサービスの種別・内容を明確に表示し、その実施をお約束します。Safety(安全)
 まかせて安心。万一事故が発生した場合、お客さまには速やかに円滑な損害賠償を行います。Sanitation(衛生)
 美しく清潔に。厳しい管理基準に従い、お客さまに気持ちのよいサービスをお約束します。





支払い完了を見計らい、別の講座に再勧誘

Q 二年前、行政書士講座の受講契約をし、未修了のまま放置していました。ところが先日、別の業者から「講座をこのまま未修了にしておく契約が毎年更新され、高額な更新料が請求されますよ。取消手続きを行いましょか。」と電話がありました。とりあえず資料請求をしたら、新たな行政書士講座の登録済証が送られてきました。断りたいのですが、どうしたらよいでしょうか。

A 当センターに寄せられる苦情相談で最も多いのが、資格取得講座に関する相談です。中でも、この事例のような相談が、最近増えています。

受講する意志もないのに、職場での執拗な電話勧誘に根負けし、資格取得講座の受講契約をしてしまう人は意外と多いようです。しかし、一度契約すればこれで済むわけではありません。業者によっては、登録した名簿をもとに、支払が完了する頃を見計らって、また会社名や講座名を変えて、次々と勧誘してきます。

この事例の場合、相談者には受講意志はないので、今後一切の勧誘を断る旨の書面発信を勧めました。以後、業者から電話があっても相手にならず、毅然とした態度をとるよう助言したところ業者からの連絡はなくなりました。

一般的に国家資格は、業者が言う程簡単に取得できるものではありません。また、資格取得が、即高収入につながるものでもありません。必要ない資格であれば、毅然とした態度で断わるようにしましょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9233、
高岡支所、電話0766(25)2777

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。12月22日消印有効です。

氏名
住所
電話
本誌を読んだ感想

富山市新総曲輪
富山県広報課
写真プレゼント
11月号係あて



黒部市のたいまつ祭り

お詫び
本誌十月号の「とやまの祭事記」で、黒部市のたいまつ祭りを紹介した際に、手違いにより、宇奈月町のたいまつ祭りの写真を掲載しました。ここに訂正してお詫び申し上げます。

十一月

とやまの祭事記

漁師仲間を巡回するえびす様

また
潤建のえびす様渡し

新湊市



潤建とは漁業組合のこと。潤建から潤建へ一年ごとにえびす様の受け渡しをする神事が、新湊市で行われている。
元禄十六年のこと、新湊市放生津の四つの潤建の釣漁師が、加賀藩三代藩主前田利常に金鯛を献上したところ、利常は大変喜び、ほうびとして能登から宮崎沖までの富山湾一帯の釣漁を許すお墨付きとえびす絵像を下付した。以来、漁師たちはこのえびす絵像を守り神として信仰してきたのである。

えびす様渡しは十一月の第三土曜日に行われる。日も暮れると、前年の当屋(祭礼の神事宿)式が始まる。それが終わるころに次の当屋となる潤建が迎えにくる。出口では送り火がたかれ、えびす様を納めた厨子を背負うと、えびす紋のはいた提灯を先頭に夜道を次の当屋へと向かう。
受け取る側の当屋では迎え火をたき、えびす様を迎える。座敷に入ると、一年当屋をつとめるための儀式を執り行い、祭られたえびす様に大漁と海上安全を祈願する。集まった漁師たちはアワビでできた金杯で神酒をかわし合い、えびす様の受け渡しの神事は終わりとなる。

えびす祭は県内各地で行われているが、えびす様を持ち回るといのは新湊市だけで見られるものである。また当時、釣漁許可のお墨付きが与えられたのは、新湊の四潤建だけであり、漁師たちの誇りである。えびす様を持ち回ることにより一層の功德を期待し、信仰心と誇りを深めるのだという。

(参考文献 富山の習俗)

11月1日から11月7日は文化財保護協調週間です。

文化財は、私たちに先人の生活の知恵、技術など、様々なことを教えてくれる貴重な財産です。この機会に、身近にある文化財に触れ、一人ひとりが県民共通の財産として愛護する心を持ち、貴重な文化財を後世に伝えていきましょう。

富山の文化財めぐり



瑞龍寺

(高岡市・国指定建造物)

もと法円寺といい、慶長19年(1614)に加賀二代藩主前田利長が死去した際、その法名をとって瑞龍寺と改めた。その後、三代藩主前田利常が、瑞龍寺の七堂伽藍をつくらせた。この伽藍の特徴は、総門、山門、仏殿、法堂を一直線上に配していることである。特に仏殿の荘重な姿は、瑞龍寺の象徴としてあたりを圧している。



不動堂遺跡

(朝日町・国指定史跡)

遺跡の存在は昭和初期から知られていたが、実際に発掘調査が行われたのは、昭和48年から53年ごろにかけてである。そのとき、住居21棟と食物貯蔵庫と思われる穴9個が発見された。現在は、縄文時代の住居が復元されている。縄文時代中期の社会の仕組みや生活の様子を知ろうと、かけがえのない遺跡である。



浮田家住宅

(富山市・国指定建造物)

富山市太田南町にある、ひととき大きな屋敷林に囲まれた家である。浮田家が山廻り役になったのは、元禄6年(1693)で、山林の取締りなどにあたっていた。分政10年(1827)に三千石の代官に任ぜられ、翌年この家が建てられた。豪農としての家構えだけでなく、役所を兼ね備えた家の構造が珍しい。



上日寺のイチヨウ

(氷見市・国指定天然記念物)

氷見市朝日山公園の登り口にある上日寺の路傍脇の巨樹。高さは35メートル、幹まわりは10.5メートルもある。上日寺創立の際、霊木として植樹したと伝えられる。昔から「乳イチヨウ」と呼ばれ、母乳のでない人が太い枝から垂れ下がっている気根を削って煎用する風習がある。